



ARハザードスコープ 鎌倉市版

ARハザードスコープは、防災地理情報を投影するスマートフォン用ハザードマップアプリケーションです。

地図のみならずカメラを通した実写画面へのAR（拡張現実）表現や防災情報に連動したポップアップメッセージにより、ハザード情報を体感し、事前学習ツールとして防災意識向上を支援します。

AR表現やポップアップ表示によりハザード情報を実感

ユーザビリティを考慮したシンプルで簡易な操作性

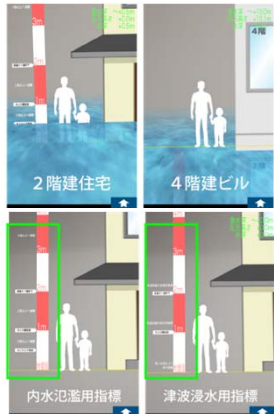
キャッシュ保存によりオフライン時の地図表示に対応

防災クイズコンテンツを盛り込み防災学習に活用



浸水AR表示

浸水深情報はマップビューには地図投影を、ARビューには、カメラを通した実写に浸水高さを表す水流CGを合成し、数値情報を画面上に補足的に表示します。AR表現は、津波、洪水、内水氾濫など浸水の種類や水深によって変化させ、危険度や発災時の行動についての理解を深める助けとなります。



オフライン地図表示

背景地図については、「地理院標準地図」をキャッシュ保存することができます。保存範囲の任意設定や保存地図のクリアなど、オフライン地図管理が可能となります。防災情報については、表示された指定避難所などポイント情報が保存されます。

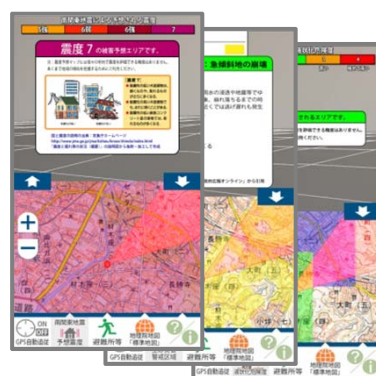


各種防災情報表示

各種防災情報は、マップビュー、ARビュー併せて、さまざまな表現方法で可視化します。指定避難所や公共施設などポイント情報はアイコン以外に名称、現在地や距離を表示し、詳細情報を表示することができます。震度、液状化危険度、土砂災害情報は、被害想定メッセージをポップアップ表示します。



ARポイント表示と詳細表示



被害想定メッセージ表示(震度、土砂、液状化)

防災クイズコンテンツ

クイズ形式でデザインとともに年少者にも理解しやすい防災クイズコンテンツと連携しています。ご家族、教育機関でも防災学習に活用できます。Webアプリケーションなので、更新や差し替えも容易です。



クイズ素材:女子美術大学 キャドセンター「パステルハートプロジェクト」より

今後の取り組み（なお、本アプリの新機能は、今後リリースされるシリーズで同等の機能を実装予定）

- ・表現力の向上と情報の補足・・・各ハザード情報表示でのAR以外のより理解しやすい表現方法の模索
- ・行政配信情報との連携・・・自治体からの情報も提供できるようにTwitterなどを連携
- ・避難所情報の充実と検索機能・・・避難所名称や住所からの検索機能を実装